

Table with columns for Project Name, Code, Budget, Category, and Policy. Includes details for '出会いの場創出事業' and '旭市後継者対策協議会設置要綱'.

1 現状把握(Do)

(1) 事業概要

Table for project overview including '事業期間', '事業の内容', and '業務の流れ'. Contains detailed descriptions of the project's goals and implementation steps.

(2) トータルコスト

Table for total costs and time, including '事業費の内訳(24年度の実績)' and '延べ業務時間の内訳(24年度の実績)'. Lists expenses like '負担金及び交付金' and '旅費'.

Table for total costs and time, including '事業費の内訳(24年度の実績)' and '延べ業務時間の内訳(24年度の実績)'. Lists expenses like '負担金補助及び交付金' and '旅費'.

(3) 事務事業の手段・目的・上位目的及び対応する指標

Large table mapping '手段' (Means), '目的' (Objectives), and '上位目的' (Higher Objectives) to specific '指標' (Indicators) and their values for 22, 23, 24, and 25 fiscal years.

(4) 事務事業の環境変化、住民意見等

Table for environmental changes and resident opinions, including '開始したきっかけは何か?' and 'この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?'.

事務事業名	出会いの場創出事業	課名	市民生活課	班名	市民生活支援班
-------	-----------	----	-------	----	---------

## 2 評価 (Check1) 担当者による事後評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが上位目的に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】 市においても未婚化・晩婚化が進んでいることから、市が婚活支援を行うことで、独身者を結婚に結びつけるきっかけづくりができる。市民にも婚活事業が浸透してきており、独身者が結婚することで、人口減少や定住化の促進につながる。
	② 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】 独身者を対象にしている。結婚する年齢は人それぞれであるので、年齢を設定することは難しく、年齢制限はしていない。会員・参加者ともに、男性は居住地を市内に限定し、女性は限定していないため、男女間で平等とはいえない。お嬢さん募集のイベント時は、男性の居住地を限定せず広く募集し、女性は市内居住者を優先にしている。
	③ 行政関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して実施すべきか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】 人口減少や定住促進対策として、行政が行うことは妥当である。
有効性 評価	④ 成果の現状水準 あるべき水準や目標に達しているか？近隣市や類似団体と比較してどうか？	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】 イベントは定員に達しないこともある。結婚の報告については、参加者に成果を報告する義務はなく、報告があった範囲のみ把握している。また、間接的な効果もあるが、数値で成果を表すことができず、評価は難しい。しかし、当市が事業を開始したあと、銚子市・匝瑳市・香取市が類似事業を開始し、銚子市と香取市は当市と比べてやや高い水準にある。
	⑤ 成果の向上余地 次年度以降の成果向上が期待できるか？事務事業を取り巻く環境変化等を考慮するかどうか？	<input type="checkbox"/> 活動量を増やせば成果は向上する ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 活動量を増やさなくても、やり方を工夫することで成果は向上する ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 活動量を増やしたり、活動を工夫したりしても、今以上成果は向上しない ⇒【理由】 ・過去の参加者のアンケートや意見をもとに、独身者のニーズに応じたイベントを企画し、申込者を増やす。 ・イベント内容の充実を図り、カップル成立数の増加につなげる。 ・男女ともにセミナー内容を充実させることにより、パーティ後に交際や結婚につなげられる会員を増やす。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業の他(民間・国県を含む)に方法があるか？ ↓ 他に手段がある場合 (1)具体的にはどのような事務事業か？ (2)類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある (1) 事務事業名：( JAちばみどり等外部団体が実施している婚活事業 近隣市の類似事業 ) (2) <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合ができる ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 既に統廃合・連携している ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 ・JAちばみどり等、婚活事業を実施している外部団体との連携 ・類似事業を実施している近隣市との広域連携 ・外部団体や近隣市との連携範囲を更に広めて、県単位で婚活事業を行うことは可能であり、有効。 <input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地(表面トータルコストの事業費部分) 事業費を削減できないか？(経費の精査、過剰仕様の適正化、回数削減、住民の協力、アウトソーシングなど)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ・一部の会員に実施している案内等の郵送をメール送信に変更する。(対応できない人が多い。) ・経費の一部は参加者に負担してもらうため、経費がかかからないイベントを企画する。
	⑧ 人件費の削減余地(表面トータルコストの人件費部分) やり方の工夫(業務プロセスの改善など)や臨時職員の活用・委託により、正規職員の延べ業務時間を削減できないか？	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ・委員は無報酬で、ボランティアとして協力している。事務局員に臨時職員を活用すれば人件費を削減できるが、市長が委嘱した委員への対応や会議の開催、イベントの企画、開催、参加者のフォローなどに対応することは難しいと考える。また、一部の会員に実施している案内等の郵送をメール送信に変更することで、業務時間は削減できる。
	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 ・未婚化、晩婚化は、市全体の問題であり、受益者は市民全体となると考える。 ・参加者は参加費を支払い、一定の負担をしている。

## 3 評価 (Check2) 担当課長による評価結果と総括

<b>(1) 1次評価者としての評価結果</b> ① 目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	<b>(2) 全体総括(振り返り、反省点)</b> 人口減少対策、定住促進対策として、行政が積極的に取り組み、独身者の出会いを支援することにより、人口減少に歯止めをかけたい。ただし、平成19年度の開始から5年経過しさまざまな見直しを考える時期にきていると思われる。
--	---

## 4 今後の方向性(事務事業担当課案)(Plan)

<b>(1) 今後の事業の方向性(複数選択可)</b> ※2~3年後を目処にした方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善による成果向上 <input checked="" type="checkbox"/> 事業統廃合・連携(関連事業:近隣市の類似事業) <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善による事業費削減 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善による延べ業務時間削減 <input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化 <input type="checkbox"/> 廃止・休止	<b>(3) 改革・改善による期待成果</b> (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上	○			維持				低下			
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上	○																						
	維持																							
	低下																							
<b>(2) 改革改善案について</b> ※いつまでに、なにを、どうするのか？ ①登録資格やイベントの参加資格について、年内に協議会で方針を決定する。(男女の条件の違い等) ②平成25年4月に委員を新たに委嘱したため、イベント参加者の勧誘・サポートを強化する。 ③近隣市において類似事業を実施しているため、年度内に合同でイベントを開催する。 ④平成25年度中に、一部の会員に実施している案内等の郵送をメール送信に変更する。																								
<b>(4) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策</b> ①男性の資格については、過去に協議会で協議し、男性に比べて女性の参加者が少なく、共に住所地を限定しないと他市住民同士が結婚し、他市に住む場合も予想されること、当初からの会員が結婚できていないこと、市内に独身男性が多数いることなどを理由に、拡充しないと決定した経緯がある。無条件に広げるのではなく、市内在勤などの条件設定を検討する。②出会いコンシェルジュは各分野、各年齢層の方で構成されているため、婚活していない独身者を掘り起し、イベントへの参加を働きかけてもらう。③他市とのイベントの合同開催は、初めての試みであるため、担当者間で連絡を取り合い連携し、実施を目指す。④会員への案内方法の変更は、事前に周知をし、メールや市ホームページ上の情報を見ていただく。																								